

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ 来・病棟)

(内視鏡・消化器内科外

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2018年9月1日～2030年12月31日の期間に、上部消化管出血(疑い含む)を来し当院にて加療を行った患者さん				
② 研究課題名	上部消化管出血に関する観察研究				
③ 実施予定期間	2025 年 12 月 ~ 2031 年 12 月				
④ 実施機関	呉医療センター・中国がんセンター				
⑤ 研究代表者	氏名	吉田 成人	所属	呉医療センター・中国がんセンター 内視鏡内科	
⑥ 当院の 研究責任者	氏名	同上	所属	同上	
⑦ 使用する試料	<p>収集する診療情報は下記の通りです。 患者特徴・身体所見(年齢、性別、身長、体重、BMI)、血液検査結果、既往歴(Hp 感染有無・治療含む)、内服薬、生活歴(飲酒・喫煙)、家族歴、内視鏡所見(出血源、治療法、偶発症含む)、予後(再出血、生死など)など</p> <p>※上記診療情報は、研究終了まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。 ※本研究では、診療情報は当院の研究担当者によって厳重に保管されます。 ※当院の研究者が収集した情報を取り扱います。</p>				
⑧ 目的	上部消化管出血の成因は、静脈瘤に起因するものと胃十二指腸潰瘍(消化性潰瘍)などに分類されます。消化性潰瘍の成因としてはヘリコバクター・ピロリ(Helicobacter pylori:HP)感染と低用量アスピリンを含む非ステロイド性抗炎症薬が重要であるがその他の成因も増えてきています。出血性消化性潰瘍の罹患率や死亡率については世界的に減少傾向にあるものの、高齢者の割合が増加していることが知られており、高齢社会となった本邦ではその対策が喫緊の課題です。また上部消化管出血を疑う症例に対する緊急内視鏡の適応や内視鏡的止血術の必要性など明らかになっていないことが多いのが現状です。本研究は上部消化管出血(疑い含む)を来し当院にて加療を行った患者さんの転帰について検討することを目的としています。				
⑨ 方法	上部消化管出血(疑い含む)を来し当院にて加療を行った患者さんの、⑦に記載している診療情報を収集し、データ解析を行います。				
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日		2025 年 12 月 25 日		
	院長承認日		2025 年 12 月 25 日		
⑪公表	個人情報は保護したうえで、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。				
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。				
⑬知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。				
⑭利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。				
⑮問い合わせ	連絡先	田丸 弓弦	電話	0823-22-3111(代表)	
	呉医療センター・中国がんセンター 内視鏡内科				

呉医療センター・中国がんセンター院長